

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		西本 裕輝		所 属		大学教育センター		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	共通教育においては例年通り「沖縄の学力と教育」を担当する。学士課程教育においては教育学部心理臨床科学コースの協力教員として、ゼミ生4名を指導するとともに、「心理臨床研究計画法」等の科目を担当する。大学院においては、臨床心理学専攻の専任教員として「学級集団心理学特論」等の科目を担当する。				0.30	共通教育においては「沖縄の学力と教育」を担当した。専門教育においては教育学部心理臨床科学コースの協力教員として、ゼミ生5名を指導するとともに、「心理臨床研究計画法」等の科目を担当する。大学院においては、臨床心理学専攻の専任教員として「学級集団心理学特論」等の科目を担当する。				
研究	0.20	科研の助成を受けている研究「沖縄の離島と本島間の学力格差に関する調査研究」(基盤研究C)の二年目に当たる。現在、離島の高校と本島内の高校において調査を行い、比較検討を実施する。				0.20	離島を含む県内三つの県立高校において学力に関する調査を実施し分析を行った。調査分析により、離島と本島の学力差の要因として、保護者の進学期待、モデルとなる存在の有無等が明らかになり、意義深い結果が得られた。				
社会貢献	0.20	COC事業「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」の事業本部委員として、企画・運営に参画するとともに、琉大キャンパス・ラジオ等における広報活動に携わる。また学力研究の専門家として、沖縄県教育委員会委嘱の家庭教育推進委員会委員、沖縄県医師会委嘱の次世代の健康教育検討委員会委員等の委員の業務に携わる。				0.20	COC事業「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」の事業本部委員として、企画・運営に参画するとともに、琉大キャンパス・ラジオ等における広報活動に携わり、RBCラジオに出演した。また学力研究の専門家として、沖縄県教育委員会委嘱の家庭教育推進委員会委員、沖縄県医師会委嘱の次世代の健康教育検討委員会委員等の委員の業務に携わった。できあがったテキストは県内の全小学校で使用されることになり、そのことは2月20日の琉球新報紙上で紹介された。				
管理運営	0.30	大学教育センター副センター長として各種の全学的な委員会活動に携わる。昨年に引き続きURGCC推進支援室室長、大学教育改善等委員会委員長、全学教育委員会委員、生涯学習教育研究センター運営委員会委員および紀要編集委員長を務めるとともに、今年度から新たに、全学学士教育プログラム委員会副委員長、教育改革タスクフォースメンバー等を拝命する。				0.30	大学教育センター副センター長として各種の全学的な委員会活動に携わった。昨年に引き続きURGCC推進支援室室長、大学教育改善等委員会委員長、全学教育委員会委員、生涯学習教育研究センター運営委員会委員および紀要編集委員長を務めるとともに、今年度から新たに、全学学士教育プログラム委員会副委員長、教育改革タスクフォースメンバー等を拝命した。				
進路指導	0.00	大学教育センターに進路指導の機能はない				0.00					
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		天野 智水	所 属		大学教育センター	職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウエイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	共通教育科目の「大学間共同授業」と「大学教育論」を担当する。前者については、当番校である佐賀大学の企画趣旨を反映させながら事前学習指導を実施し合宿当日に備える。後者については、授業評価結果から教材に改善の余地がありそうだったので、補助資料の見直しや参考図書の指定を新たに行う。			0.25	共通教育科目の「大学間共同授業」と「大学教育論」を実施した。両者ともアクティブラーニングの手法を取り入れた。また、後者では補助教材を従来のものから一部変更して学生の議論と理解を促した。		
研究	0.35	①学会大会にて昨年度口頭発表した「大学教員給与制度調査」の結果報告を論文として取りまとめ、研究紀要での発表を行う。 ②新たな研究計画を策定して科研費申請を行う。 ③教育実践・改善に関する調査研究を行う。			0.35	①日本高等教育学会紀要への教員給与制度に関する論文掲載が決定した。 ②科研費申請を行った。		
社会貢献	0.05	本学訪問校の生徒に対する模擬授業を行う。			0.00	当方に対する模擬授業の実施依頼はなかった。		
管理運営	0.40	①全学教育委員会や全学学士教育プログラム委員会の委員を務めるとともに、大学教育センター会議等で上記委員会の議案作成に携わる。 ②学生生活委員会委員や大学評価センター評価企画員等を務める。 ③部局横断的なFDの企画・立案・実施に携わる。			0.40	①全学学士教育プログラム委員会の副委員長を務めるとともに、同委員会内に設けられたWGのメンバーとして学習成果の評価方策の原案作成に携わった。 ②大学評価センター評価企画員やIR推進室員を務めた。 ③学習成果の評価に関するFD講演会(10/17)の立案実施に携わったほか、新任教員研修会(4/9)や共通教育担当者向けシラバス説明会(計3回)の講師を務めた。		
進路指導	0.00				0.00			
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	